



育てます豊かな食とみどりの東京 農 総 研 だ よ り



第5号

平成20年7月発行

財団法人 東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター

第50回野菜・花き種苗改善審査会

～形が良く作りやすい初夏どりキャベツを紹介します～

平成20年6月9日(月)、東京都農林総合研究センターを会場にして、東京都種苗研究会主催、第50回野菜・花き種苗改善審査会「秋蒔き初夏どりキャベツ」の部が開催されました。



審査風景

出品点数 19点(内、参考品種5点)

栽培概要 2007年11月8日播種。

播種床の施肥は化成肥料(8-8-8)、重焼リンにて成分量でN-P-K=10-18-10 kg/10aを施用。

3月18日定植。元肥(10a当り):牛糞堆肥2t、炭カル180kg、配合肥料(8-8-8)にて成分量でN-P-K=14-14-14 kg/10aを施用。4月11日に化成肥料(8-8-8)にて成分量でN-P-K=8-8-8 kg/10aを追肥。

東京都病害虫防除指針に沿って病害虫防除を実施しました。

(園芸技術科 野菜チーム)

入賞をはたしたのは、以下の通りです

等級	品 種 名	出 品 社
I	YR天空	タキイ種苗(株)
II	ノウリン交配 さつき女王	(株)日本農林社
II	みくに	カネコ種苗(株)
III	YR晴信	雪印種苗(株)
III	MSC-775	(株)武蔵野種苗園



I等 YR天空



II等 ノウリン交配 さつき女王



II等 みくに

農機・資材検討会(展示会)のお知らせ

毎年好評の都野連主催・JA全農とうきょう共催の「農機資材検討会(展示会)」が、**8月6日(水)～7日(木)**の両日、ふれあい広場などを使って開催されます。

当日は、トラクター、耕耘機、防除機、農薬をはじめ、各種の農機・資材が展示されますので、ご自由に見学してください。

開催場所:立川庁舎

開催時間:9時～16時



第 50 回野菜・花き種苗改善審査会 ～夏花壇に映えるピンカです～

平成 20 年 7 月 1 日（火）東京都農林総合研究センターを会場にして、東京都種苗研究会主催、第 50 回野菜・花き種苗改善審査会‘ピンカ’の部が開催されました。

出品点数 18 点（内、参考出品 6 点）

栽培概要 平成 20 年 3 月 10 日播種。288 穴セルトレイへ市販播種用土を詰め、1 セル 1 粒播きし、夜温 20℃加温室内で育苗。4 月 15 日から 16 日にかけて、3.5 号黒ポリポットに 3 本植えて鉢上げ。用土は、赤土：腐葉土：ピートモス＝5：3：2（体積比）とし、用土 100ℓ当たり、被覆複合肥料 14-12-14＝300g、化成肥料 6-40-6＝200g、過リン酸石灰＝250gを基肥とした。（用土 100ℓ当たり成分量で N＝54g、 P_2O_5 ＝158g、 K_2O ＝54g）鉢上げ後は、夜温 15℃、昼温 20℃で管理。5 月 7 日、3 節を残してピンチをした。5 月 27 日に緩効性 I B 化成肥料 10-10-10 を鉢当たり 4～5 粒、6 月 27 日に液肥 20-20-20 2,000 倍液（N＝100ppm）を鉢当たり 100ml 追肥。東京都病害虫防除指針に沿って病害虫防除を実施した。
（園芸技術科 花きチーム）



I 等 F1 タイタン ピュアホワイト



II 等 サンストーム レッド

入賞をはたしたのは、以下の通りです

等級	品 種 名	出 品 社
I	F1 タイタン ピュアホワイト	（株）ミヨシ
II	サンストーム レッド	シンジェンタシード（株）
III	F1 ビデシー アプリコット	タキイ種苗（株）
III	F1 ビデシー レッドウィズアイ	タキイ種苗（株）



F1 ビデシー
アプリコット



F1 ビデシー
レッドウィズアイ

植物のうどんこ病 ～効率的な防除対策を目指して～

園芸を楽しむ方であれば、一度は聞いたことのある名前ではないでしょうか。まさに、うどん粉を振りかけたように葉や花が真っ白になってしまう病気で、約 1 万種の植物に発生すると言われていいます。見た目はどれも同じように見えますが、顕微鏡で観察するといろいろな形をしています。「うどんこ病」なんて、何となくのんびりした？名前ですが、薬剤が効かなくなる薬剤耐性菌が発生しやすいなど、農業生産上、大変重要な病害です。

生産環境科病害・虫害管理チームでは、遺伝子解析などの最新の手法を使って、うどんこ病の分類や効率的な防除対策に取り組んでいます。
（生産環境科病害・虫害管理チーム）



“うどんこ病” に罹ったキュウリ



キュウリうどんこ病菌



トマトうどんこ病菌

スギの花粉と格闘しています ～花粉の少ないスギの種子を人工交配で作っています～

地球温暖化対策として、広葉樹よりも二酸化炭素を多く吸収するスギが注目されています。伐採後に植える花粉対策用のスギを増やす取組が望まれています。

そこで、成長や幹の通直性等に優れたスギを対象に、雄花が極めて少なくほとんど花粉を生産しない「少花粉スギ」品種を、森林総合研究所と都府県の研究機関が連携して開発しました。

そして、本年2月～3月に研究員と現場の職員総出で、日の出町にある採種園の「少花粉スギ」品種の雌花に交配袋を掛け、花粉まみれになりながら別の「少花粉スギ」の雄花から集めた花粉を人工交配しました。今年の秋には「少花粉スギ」の種子がとれる予定です(播種から3年で苗木が出来ます)。

(緑化森林科)



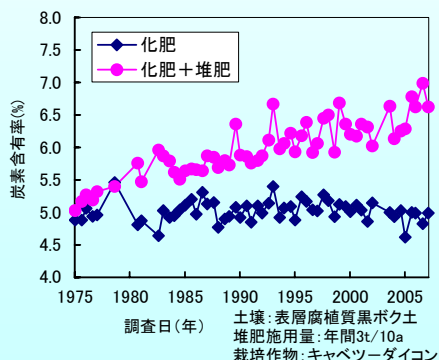
意外な一面お見せします ～農地も温室効果ガスを吸収しています～

近年、地球温暖化の防止に向けて、二酸化炭素等の温室効果ガス排出量の削減が求められています。土壌は陸域最大の炭素貯蔵庫ですが、農地における炭素の変動と土壌管理との関係を当センター内の堆肥連用試験から考えてみました。

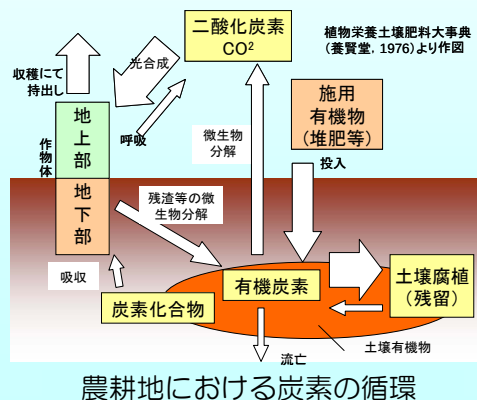
東京の農地土壌の大半を占める黒ボク土において牛ふん堆肥施用の有無による土壌炭素の変化をみると、化学肥料のみの栽培ではほぼ横ばいでしたが、年間 3t/10a の堆肥を併用することで 10 年につき 0.5%程度増加しました。堆肥を適切に利用し土づくりを行うことで、土壌炭素を蓄積させ、大気中の二酸化炭素の削減に貢献できるといえます。

農地は重要な食料生産の場であると同時に、二酸化炭素の吸収源として地球温暖化の防止にも寄与できる可能性があります。今後とも都内農地の土壌状況を把握し、生産性を維持できるような適切な土壌管理法を模索していきます。

(生産環境科 土壌肥料研究チーム)



堆肥連用による土壌炭素の変化



～環境フェア2008「全国花のまちづくり 江戸川大会」～ に出展しました

6月7日(土)～8日(日)、江戸川区総合文化センターを会場に、江戸川区など4団体主催による環境フェア2008「全国花のまちづくり江戸川大会」が開催されました。

花と緑による環境改善等への技術協力をはじめ、花き産業等の振興で江戸川区と連携する江戸川分場は、「環境にやさしい園芸技術」をテーマに出展。農総研が開発した花マット植物の展示、薬剤のみに頼らない環境保全型総合防除技術(IPM)を紹介しました。会場を訪れた約5万人の方々に最近の研究成果を発表することができ、たいへんな好評を博しました。

(江戸川分場)



サツマイモ苗植え ～豊作を願って～



農林総合研究センターでは、立川市、昭島市内の保育園、幼稚園のうち希望する団体を対象にサツマイモの栽培体験を行っています。

5月末、16園の保育園・幼稚園の園児がサツマイモの植え付けをしました。苗を手にするのが初めての子供達もたくさんのイモが採れるように丁寧に植え、最後にたくさん収穫できるように願っていました。

今後、秋の収穫まで草取りなどの世話をしていきます。

(研究企画室)



新メンバーがお目見え ～青梅庁舎に会いに来てください～

去る6月23日、青梅庁舎に新しい羊が奥多摩から来ました。サフォークという品種の2才の雌で、主に肉を取るための羊です。これまではたくさんの仲間と暮らしていましたが、急に独りになってしまったため、まだ少し落ち着かないですが、だんだん今の環境に慣れて、皆さんに可愛いがってもらえるよう、がんばっています。

また、7月中旬頃にはアヒル(北京種とアオクビアヒル)のひな達が、展示鶏舎にデビュー予定なので、こちらもぜひ見に来てください。

(畜産技術科)



青梅庁舎の
展示畜舎で
待ってます



Coffee break



What
is
this?



開いたものは良く見かけますが…

ヒント ①春に枝先に付きます。

②雌と雄で異なります。

③雄花は5人に1人が悩む物質を出します。

(答えは、農総研だよりの中)

(発行者)東京都農林総合研究センター 保科次雄

財団法人 東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター

〒190-0013 東京都立川市富士見町 3-8-1 TEL 042-528-5216 FAX 042-523-4285

<http://www.tokyo-aff.or.jp/center/index.html> 皆様からのご意見・ご質問・ご要望をお待ちしております。